

J R連合 N EWS

JRに集う すべての仲間の JR連合への 総結集を!!

No. 83

2021年3月2日

日本鉄道労働組合連合会

J R連合四国地協第 29 回定期委員会

JR四国グループのすべての経営基盤強化と 働く仲間と家族の幸せ実現に取り組む!



JR連合四国地方協議会(四国地協)は、2月13日、香川県宇多津町にて、「最大の経営危機を強固な団結と労使関係で克服し『JR連合ビジョン』の実践と産業・労働政策の推進を通じてJR産業の持続的発展と組合員・家族の幸せを実現しよう!」をスローガンに掲

げ、第 29 回定期委員会を開催した。四国地協を構成する J R 四国労組、ジェイアール四国メンテナンス労組、四国K I O S K 労組、J R 四国ホテルズユニオン、四万十の宿労組、J R 徳島駅ビル開発ユニオンから出席者が参画した。また、来賓として、J R 連合から中山耕介組織部長が出席した。

冒頭、執行部を代表して大谷清議長(JR連合副会長・JR四国労組委員長)が挨拶に立ち、四国地協運動が地域の中で重要な役割を担っているとした上で、グループ会社や協力会社を含めた「安全の確立」を第一に、コロナ禍で取り組む今春季生活闘争において「すべての仲間の雇用と生活の維持」を最優先に運動を展開していく決意を述べ、委員会における真摯な討論を要請した。

委員会では、2021春季生活闘争をはじめ、連合や交運労協におけるJR連合運動の展開、増収活動などを活用した組織強化・拡大の取り組み、第49回衆議院議員選挙への対応などの2020年度活動方針を満場一致で決定した。

なお、本委員会で役員改選が行われ、大谷議長、幸大事務局長をはじめとする 役員が再任され、コロナ禍における四国地協の一層の活動推進にむけた体制を構 築した。